



これから「ため池」はどうなっていくのか?
 ~失う未来 得る未来~
 東播磨が進むべき道はどちらだ!

『ため池』フオーラム

いなみ野ため池ミュージアム推進フオーラム

日時

平成 27 年

11月2日 月 12:30~15:00
 (11:45 受付開始)

場所

加古川市民会館 中ホール

プログラム

あいさつ

特別企画 「みんなで考える ため池の未来の課題」

- ◆フォトメッセージ「ミュージアム 13 年の歩みとこれから」
- ◆鼎談 玉岡かおる (いなみ野ため池ミュージアム運営協議会長・作家)



& 工楽善通 (大阪府立狭山池博物館長)
 原 豊 (福岡県春日市都市計画課係長
 溜池保全条例担当)

in 東播磨

座談会 「次代につなぐ『ため池』の未来を語る」

コーディネーター 中瀬 勲 (兵庫県立人と自然の博物館長)

明石市長 泉 房穂

加古川市長 岡田 康裕

高砂市長 登 幸人

稲美町長 古谷 博

播磨町長 清水 ひろ子

東播磨ため池協議会代表者

参加無料

定員 700 人

パネル展

ため池の有する多面的機能
 アカミガメ等の外来生物対策
 田んぼ・ため池を活用した総合治水対策 他

お申し込みは裏面をご覧ください 申込期限 10月20日



主催 いなみ野ため池ミュージアム運営協議会

後援 兵庫県、水土里ネット兵庫、兵庫県多面的機能発揮推進協議会、神戸新聞社、(株)ラジオ関西、BAN-BAN ネットワーク(株)、(株)明石ケーブルテレビ
 JA 兵庫南、JA あかし、JA 加古川南、明石市漁業組合連合会、高砂市漁業組合連合会、東播磨漁業協同組合、播磨町漁業協同組合

フォーラム趣旨

東播磨地域の財産である「ため池群や水路網」を“守り、活かし、次代に継承”するため、平成14年度から地域の皆さんと共に「いなみ野ため池ミュージアム」を進めてきました。取組開始から13年目を迎え、地域の皆さんの「ため池」に対する関心が高まっており、各地で多彩な保全活動や交流イベントが行われています。

一方、農家の高齢化・減少や農地の減少、ゲリラ豪雨の多発や地震への備えなど、ため池管理者の負担は、年々、大きくなってきています。

県「ため池の保全等に関する条例」(施行 H27.4.1) の改正を受け、今後、市町の地域性を踏まえた「ため池保全策」の具体化に向けて、東播磨の市町長さんをはじめ関係者の皆様と共に考えていく場としてフォーラムを開催します。



©東京声優プロデュース

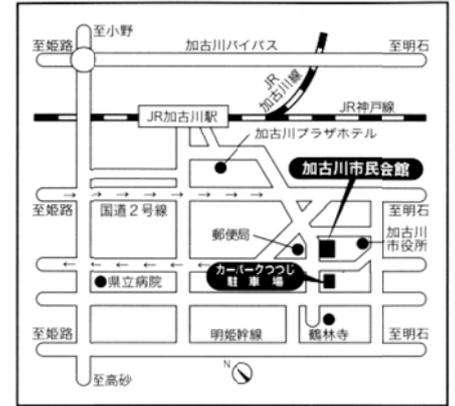
会場アクセス

駐車場には限りがありますので、できるかぎり公共交通機関をご利用願います

電 車：JR加古川駅より、バスで約5分(南側バス停2番のりばか3番のりばの「東加古川駅」行きか「尾上公民館前」行きに乗車。「市役所前」にて下車。)

徒 歩：JR加古川駅より徒歩で約15分

駐車場：カーパークつつじ(有料) ※受付で無料券を配布しますが、駐車できない場合がありますので、できるかぎりお乗り合わせください。



申込方法

- 参加ご希望の方は、下記の申込書に必要事項をご記入のうえFAXまたは郵送にてお申し込みください。
- 申し込み締切日：平成27年10月20日(火)
- 当日のご参加も可能ですが、事前準備のため人数把握にご協力をお願いいたします。
- お問い合わせ先：いなみ野ため池ミュージアム運営協議会事務局(東播磨県民局水辺地域づくり担当)
〒675-8566 兵庫県加古川市加古川町寺家町天神木 97-1 Fax079-424-9977 Tel079-421-9026
E-mail: inamino.tameike.museum@gmail.com HP:http://www.inamino-tameike-museum.com/

Fax079-424-9977 いなみ野ため池ミュージアム運営協議会事務局(東播磨県民局水辺地域づくり担当) 行

次代につなぐ『ため池』フォーラム(11/2) 参加申込書

(代表者) 氏 名			(所属団体)		
住 所	〒				
連 絡 先	TEL	FAX	交通手段	・電車+バス又は徒歩 ・自家用車(計 台) ・借上バス	
その他 出席者 氏名					
	(計 人)				